

みなさん、お久しぶりです。10か月ぶりの発行となります。酷暑や局地的な大雨が多かった今年の夏でしたが、9月後半から最高気温が30℃未満・最低気温が20℃前後と、ようやく涼しくなりましたね。

地球温暖化対策は、地球温暖化の進行を抑える「緩和策」と、すでに起こっている、あるいは避けられない気候変動の影響に備え、被害を軽減させる「適応策」の2つが重要とされていますが、「適応策」の重要性を改めて感じた夏でした。



## 国土交通省モデル事業「宇奈月EMUを活用した実証実験と調査研究」

国土交通省モデル事業(トヨタモビリティ基金連携)ナショナルリソースを活用した共創(連携・協働)の推進～施設送迎(宿泊、介護、教育)のリソースシェア～について、今年度、宇奈月温泉街でEMUを活用し、観光送迎・旅館送迎のデジタル化等の実証実験と調査研究を実施します。現在準備中です。詳しいことは次号で掲載予定です。



## うなづきダム湖フェスティバル2025 EMUも



8月16日(土)に開催された「うなづきダム湖フェスティバル2025」で、EMUもお手伝いしました。発電所見学会参加者の送迎(宇奈月ダムと宇奈月発電所間)を行いました。700mほどの短い区間でしたが、EMU乗車を楽しんでいただきました。

## (一社)グリーンスローモビリティ協議会設立総会に出席

グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走行できる電動車を活用した小規模な移動サービスで、その車両も含めた総称です。

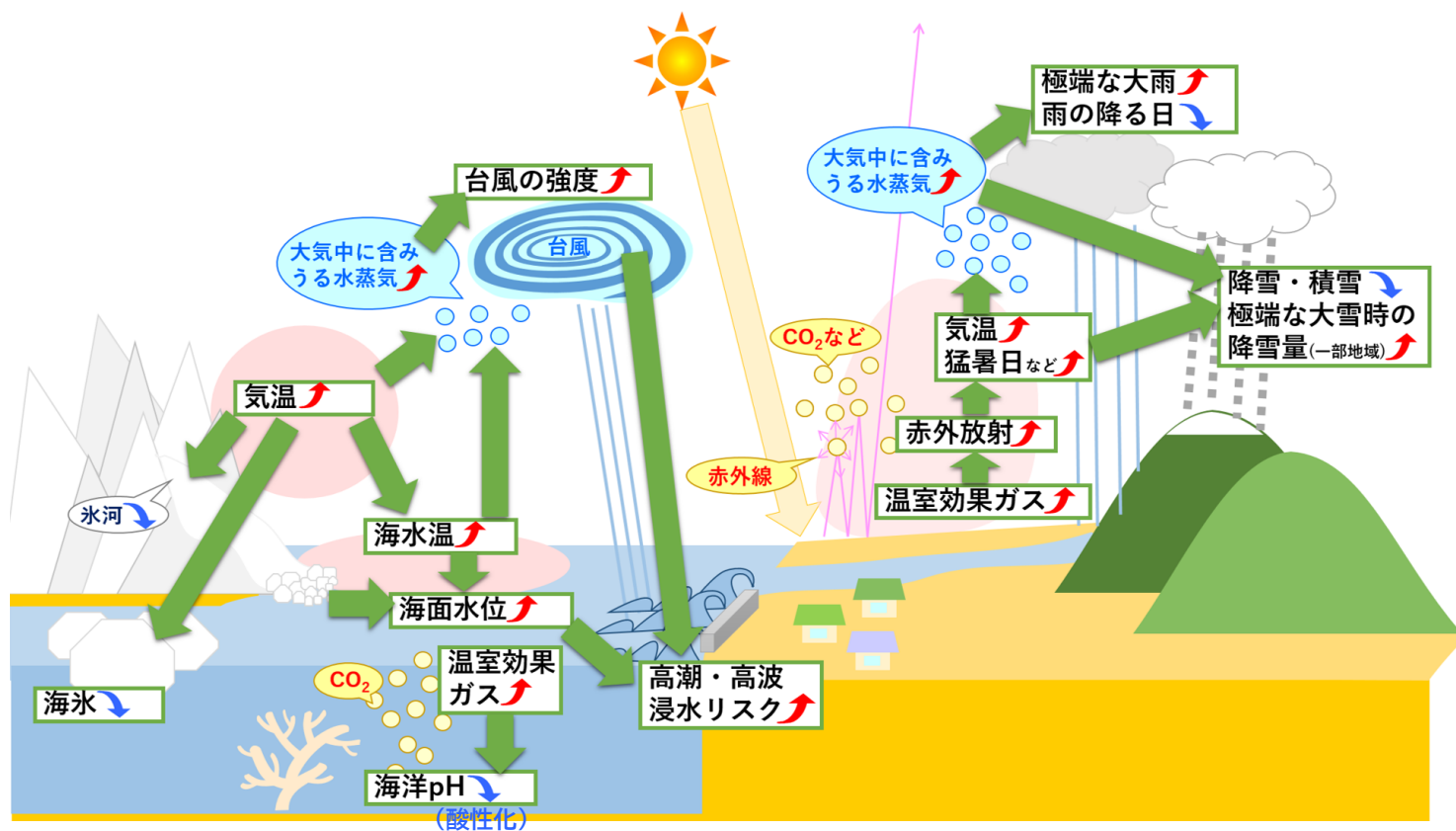
9月5日(金)東京で開催された設立総会・レセプションパーティーに代表理事が出席しました。パーティーでは、グリーンスローモビリティの先駆け★となったでんき宇奈月の活動の紹介もさせていただきました。



★グリーンスローモビリティという言葉は、2018年6月に国土交通省が提案した言葉です。EMUは、その6年前2012年8月から運行開始しています。

裏面もあります、見てくださいね♥

# わたしたちの暮らしと地球温暖化 その87



上図は、文部科学省と気象庁が日本における気候変動対策の効果的な推進に資することを目的として作成し、公表している『日本の気候変動2025 一大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書一』に掲載されている「気候変動と大気・海洋の諸要素の変化」を表したものです。

18世紀中頃の工業化以降の人間活動に伴い、大気中の温室効果ガスは増加し続けています。そのことにより、気温、降水、海水温及び海面水位などの要素も変化していきます。それらの関係について示した概要図です。緑矢印➡：各要素の変化の関係、赤・青矢印：各要素の変化(赤➡：増加、青➡：減少)で表されています。上図の文章による説明や、日本における気温、降水、海洋に関しての各要素の過去から将来までの変化についてもまとめた表などが掲載されていますので、右のQRコードから、ぜひご覧ください。



また、『日本の気候変動2025』を4つのテーマに分け、わかりやすく解説されている動画(YouTube、約5分/テーマ)も公開されています。

開設動画は  
こちらから

出典) 文部科学省及び気象庁 日本の気候変動2025 <https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>

(富山県デコ活推進員[地球温暖化防止活動推進員]:美香)



発行／一般社団法人でんき宇奈月

編集／一般社団法人でんき宇奈月 町野、水野

〒938-0282 黒部市宇奈月温泉633-1 大高建設(株)内 TEL 0765-62-1106

<https://www.denki-unazuki.net/>

ご意見ご感想お待ちしております!